JAPAN

2025.04月嗖

MONTHLY REPORT

2025

សួស្តីឆ្នាំថ្មី
បុណ្យចូលឆ្នាំខ្មែរ

HAPPY KHMER NEW YEAR

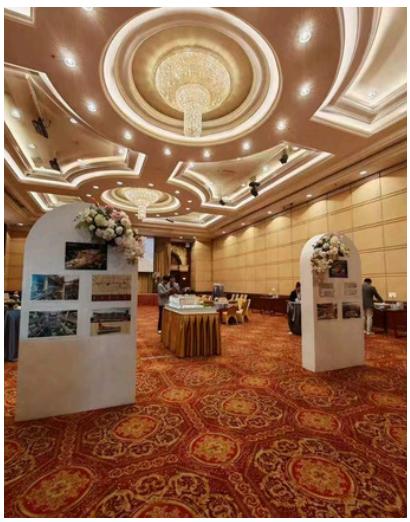
GC Orussey Market
3月 建設進捗報告

GCOプロジェクトは現在、1階および2階の工事を進めており、1日でも早く完成できるよう現場は常に稼働しております。
また、3月22日に本プロジェクトはタイ・バンコク及び香港にて大規模な展示販売会を開催いたしました。カンボジアのローカルマーケットに対する投資魅力に、タイや香港の投資家から大きな共感をいただき、多数の商談や視察の申し込みが寄せられました。今後もタイ・香港市場での販売強化を継続してまいります。

©2025 GCC Japan Co.,Ltd All Rights Reserved

©2025 GCC Japan Co.,Ltd All Rights Reserved

タイでの展示販売会 風景



©2025 GCC Japan Co.,Ltd All Rights Reserved

香港での展示販売会 風景

©2025 GCC Japan Co.,Ltd All Rights Reserved

2025年03月22日

実りの多いこの季節、GCCグループは設立10周年という大きな節目を迎えました。
一つの小さな希望の種から始まったGCCは、たくさんの出会いと挑戦を経て、今では多くの人に支えられる存在へと成長しました。この10年は、私たちの努力と歩みの積み重ねであり、同時に未来への新たなスタートでもあります。
これまで支えてくださった皆さまに感謝するとともに、これからも挑戦を続けてまいります。

©2025 GCC Japan Co.,Ltd All Rights Reserved

©2025 GCC Japan Co.,Ltd All Rights Reserved

CAMBODIA

LATEST INFORMATION

2025年03月31日

米ドルは2025年半ばにピークか　利下げと貿易摩擦がカギに

出典：Will the ‘King’s’ reign continue? Outlook for the dollar in 2025

カンボジアのカナディア銀行のレイモンド・シアCEOは、「キング・ドル（米ドル）」の支配が2025年半ばにピークを迎え、その後は下落する可能性があるとする国際的な見通しを紹介。FRBによる利下げ観測や、トランプ政権下でのインフレ懸念、関税強化が米ドルの先行きに影響を与えると指摘しました。SWIFTのデータによれば、米ドルは依然として国際決済の約49%、貿易金融の82%を占めており、他通貨に代替される兆しは限定的です。ただし、地政学リスクや貿易戦争の激化がドル相場を短期的に押し上げる一方、長期的な支配継続には不透明感が漂います。

2025年03月28日

約1,000名を乗せたクルーズ船がシアヌークビルへ

出典：Cruise Ship with Nearly 1,000 Tourists and Crew Docks in Sihanoukville

2025年3月28日、全長280メートルの大型クルーズ船「INSIGNIA（マーシャル諸島船籍）」が、カンボジア・シアヌークビル自治港に寄港しました。乗船していたのは、24カ国から訪れた528名の観光客（うち女性273名）と、42カ国から構成された乗員402名（うち女性84名）の計930名に上ります。観光客の中で最も多かったのはアメリカ人（356名）で、その他にも多国籍な旅行者がカンボジアでの1日観光を楽しみました。このような大型クルーズ船の寄港は、地域の観光・経済に大きな活気をもたらすと期待されています。

2025年03月28日

日系企業、カンボジアでカシューナッツ400トンの供給契約を締結

出典：Japanese firm inks contract for 400 tonnes of cashew nuts

コンポントム州の3つのカシューナッツ農業コミュニティが、日本のMIRARTH Agri Tech社と400トン・約65万ドル相当の供給契約を締結しました。契約金の30%を前金として受け取り、価格の安定が期待されています。農林水産省のKim Finan氏は、契約栽培の重要性と市場との接続、加工による付加価値創出を強調しました。MIRARTH社は今回の契約を試験的な取り組みと位置付け、今後の拡大を目指しています。農家側もこの契約を歓迎し、今後の市場機会に期待しています。

©2025 GCC Japan Co.,Ltd All Rights Reserved

2025年03月26日

カンボジア、インドで投資ロードショーを計画

出典：Cambodia plans investment roadshow in India

スン・チャントール副首相は、海外からの直接投資を促進するため、インドでの投資誘致ロードショーを企画する方針を示しました。この計画は、新たにカンボジアに着任したインドのヴァンラルヴァウナ・バウィトルング大使との会談の中で明らかにされました。
チャントル氏は、カンボジアとインドの関係には、情報技術、デジタル技術、電子機器、食品加工といった分野でさらなる協力の可能性があると述べました。大使は、両国の長年にわたる関係を評価し、関係のさらなる深化の必要性を強調しました。

2025年03月22日

カンボジア商業省代表団、日本の大阪万博パビリオンを視察

出典：Bora Leads Delegation to Inspect Cambodian Pavilion at World Expo 2025 in Japan

3月18日、商業省のサムヘン・ボラ政務次官は、2025年大阪・関西万博のカンボジア館建設の進捗状況を視察するため、代表団を率いて現地を訪問しました。視察は会場内の「BS3」区画で行われ、建設が予定通り進んでいるかを確認。2025年4月12日の開幕に向け、準備が順調に進んでいることを確認しました。大阪・関西万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、2025年4月13日から10月13日までの6か月間開催される予定です。

2025年03月21日

カンボジア関税消費税総局、模倣品の破棄イベント公開

出典：カンボジア関税消費税総局、模倣品の破棄イベント公開

カンボジア関税消費税総局（GDCE）は2月28日、模倣品や並行輸入品など違法商品計507トンを破棄し、その様子を外交団に公開しました。違法たばこ5,800万本を含む107点の商品は、Chip Mong Insee Cement社の協力で焼却処分されました。日本企業の正規代理店商品にも模倣・並行輸入品が流通しており、カンボジア日本人商工会（JBAC）は取り締まり強化を求めています。模倣品の多くは中国製で、国境や港を経由して流入しています。

©2025 GCC Japan Co.,Ltd All Rights Reserved

2025年03月21日

IKEA、カンボジア進出を視野に投資委員会と会談

出典：Investment Committee of Cambodia meets with IKEA to discuss investment

2024年3月19日、カンボジア投資委員会のチェア・ヴティ事務局長は、スウェーデンの家具大手IKEA東南アジアCEOのジアファー・サファヴェルディ氏らと会談し、カンボジアの投資環境や潜在性について協議しました。
ヴティ事務局長は、投資法に基づく優遇措置や、外国企業に対する差別のない政策などを紹介し、カンボジアへの早期投資を呼びかけました。
これに対しIKEA側は、今回が初のカンボジア市場調査であることを明かし、同国での投資可能性に関心を示しました。IKEAは現在、東南アジアではシンガポール、マレーシア、タイ、ベトナムなどに進出しています。

2025年03月20日

カンボジア、DHL貿易量成長ランキングで世界第8位を獲得

出典：カンボジア関税消費税総局、模倣品の破棄イベント公開

カンボジアは、DHLが発表した『TRADE ATLAS 2025』において貿易量成長スピードランキングで世界第8位を獲得し、新興・途上国の中で最も高い評価を受けました。2019～2024年の平均成長率は6％で、2024～2029年には年9％の成長が予測されています。2024年の国際貿易総額は前年比16.9％増の547億ドル。ASEAN諸国ではカンボジアが首位で、フィリピン（15位）、インドネシア（25位）などを上回りました。主要先進国は伸び率が低く、米国は108位、中国は109位にとどまりました。

2025年03月20日

アクレダ銀行の社債、カンボジア証取に上場　資金調達額は1億ドル以上

出典：ACLEDA Bank's sub-bonds successfully listed on CSX, raising over $100M

アクレダ銀行（ACLEDA Bank Plc.）は、カンボジア証券取引所（CSX）に劣後債の第2トランシェ「ACLEDA Sub-Bond 2」を上場し、適格投資家から総額4,000億リエル（約1億ドル）を調達しました。同債券は償還期間7年、年利8.50％、四半期ごとの利払いで、格付け会社は本債券にカンボジア国内での「高い債務履行能力」を示す「khAA」格付けを付与しています。
今回の資金は、運転資金や一般銀行業務、企業活動に加え、既存の借入金および劣後債の借り換えにも活用される予定です。
アクレダ銀行のイン・チャニー社長は、この発行が投資家への新たな機会を提供し、カンボジアの資本市場の発展にも貢献すると強調しました。

©2025 GCC Japan Co.,Ltd All Rights Reserved

2025年03月20日

公共事業運輸省、日本に国道5号線のモデルハイウェイ化を要請

カンボジアのペン・ポネア公共事業運輸大臣は、3月19日にプノンペンで開催された交通安全セミナーにて、国道5号線をモデル高速道路へと整備するため、JICAに対し継続的な技術支援を要請しました。
同大臣はまた、フン・マネット首相の「道路があれば希望がある」というビジョンに沿って、国道5号の安全性向上や、国道48号の開通など、インフラ整備を政府の優先事項として進めていることを強調しました。JICAカンボジア事務所の讃井一将代表は、道路事故の増加が国全体の経済・医療負担に影響しているとし、「教育・工学・取締（3E）」の原則によって事故率の25％減少を目指す取り組みを紹介しました。

2025年03月19日

商業省、日本でカンボジア産カシューナッツの市場調査を実施

出典：Ministry of Commerce seeks market trends of Cambodian cashew nuts in Japan

カンボジア商業省のサムヘン・ボラ政務次官（輸出振興タスクフォース議長）は、2025年大阪万博への参加に関連し、3月17日に東京のイオンモールおよびセブン-イレブン2店舗を視察しました。視察の目的は、日本市場におけるカンボジア産カシューナッツの市場動向を把握し、販路拡大の可能性を探ることです。ボラ氏は、カンボジア産カシューナッツを高品質なプレミアム商品として世界市場で展開するため、国際基準への適合や供給体制の強化に向けて、生産者・輸出業者との連携を進めていると述べました。

2025年03月18日

フランコフォニー・デー記念イベントでカンボジア産品が注目集める　東京で開催

出典：Cambodian products steal the show at Francophonie Day Celebration in Japan

2025年3月17日、東京の日仏学院で開催された「フランコフォニー・デー・セレブレーション」では、輸出促進およびビジネスパートナーシップの構築を目的に、香り米、カシューナッツ、カンポット産トウガラシ、土産物などのカンボジア製品が紹介されました。このイベントにはフランス語圏の19カ国が参加し、展示会や貿易促進活動が行われました。主な出席者には、カンボジアのトゥイ・リー駐日大使、日本の堀内俊彦外務大臣補佐官、ベルギーおよびフランスの駐日大使などが含まれます。またカンボジアは、2025年の大阪・関西万博でフランコフォニーの促進活動を展開し、2026年には第20回フランコフォニー・サミットを主催する予定です。さらに、2025年3月15日には、プレイベン州で地元生産者の市場アクセスや国際基準への対応、競争力の強化を支援するための貿易セミナーも開催されました。

©2025 GCC Japan Co.,Ltd All Rights Reserved

2025年03月15日

カンボジア首相、国内航空会社の源泉徴収税を2%に引き下げ

出典：PM reduces tax rate for domestic airlines

カンボジアのフン・マネット首相は、国内航空会社への負担軽減を目的に、源泉徴収税を従来の10%超から2%へと大幅に引き下げました。この措置は、COVID-19の影響で打撃を受けた航空業界を支援するためのものです。政府は、2027年までの税優遇措置の延長や特別税制の導入を通じて業界の回復を後押ししています。民間航空局によれば、2024年の国際便数は前年比22%増、航空貨物輸送量も約40%増加しており、回復基調が続いています。

2025年03月12日

カンボジア、日本の知見を活用し持続可能な産業発展を目指す

出典：Cambodia seeks Japan's expertise for sustainable industrial development

2024年3月11日、カンボジアのヘム・ヴァンディー工業大臣は、持続可能な産業開発に関する協議のため、経済産業省（METI）および産業環境管理協会（JEMAI）からの日本代表団と会談しました。
経済産業省の濱坂隆司氏は、日本の高度経済成長期における公害対策の経験を紹介し、国際的な持続可能性基準への対応の重要性を強調しました。
ヴァンディー大臣は日本の知見を歓迎し、カンボジア企業が経済成長と環境保護の両立を図るうえで、現実的かつ支援的な規制の必要性を述べました。JEMAIは、公害管理と持続可能な産業発展の取り組みを引き続き支援していく意向を示しました。

2025年03月06日

日本企業38社がカンボジアへの投資に関心を示す

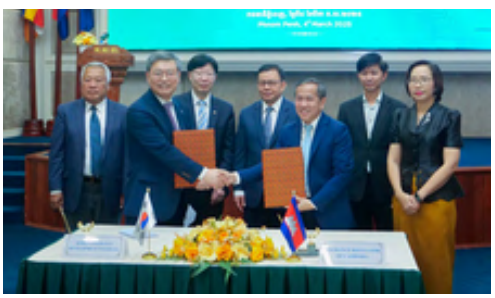
出典：38 Japanese firms evince interest for investment in Cambodia

日本貿易振興機構（JETRO）の若林康平氏を団長とする日本企業38社のビジネス代表団が、2024年3月5日にプノンペンでスン・チャントール副首相と会談し、カンボジアの投資環境について協議しました。チャントール副首相は、海運、製造、物流、グリーンエネルギーなどの分野における投資機会を強調したほか、工業プラント、農業、中小企業、教育といった優先分野についても説明しました。
また、外国投資の誘致に向けた政策やインセンティブ制度、およびオンラインで投資申請が可能な「カンボジア投資プロジェクト管理システム（cdcIPM）」についても代表団に紹介されました。

©2025 GCC Japan Co.,Ltd All Rights Reserved

2025年03月06日

カンボジアと韓国、保険開発に関するMoUを締結



出典：Cambodia, S Korea ink MoU on insurance development

カンボジア保険監督庁（IRC）と韓国保険開発院（KIDI）は2025年3月4日（火）、カンボジアと韓国の保険分野での協力強化に向けた覚書に調印した。この協定には、人事交流、研修プログラム、保険統計やITインフラに関する情報共有などが含まれます。IRCのBou Chanphirou事務局長は、業界管理の強化と相互発展の促進におけるMoUの役割を強調しました。カンボジア保険市場の2024年の保険料総額は3億5,640万ドルで、保険普及率はGDPの1.16％であります。

2025年03月05日

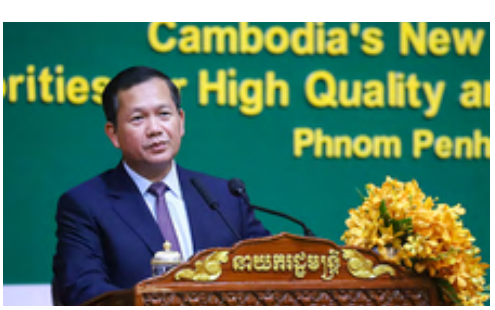
カンボジアの技術系学生が日本企業でインターンシップ

出典：Cambodian tech students bag internships at Japanese firm

カンボジア工科大学の土木工学科に所属する学生4名が、研究協力も含む覚書（MoU）に基づき、日本企業「佐藤工業」で3か月間のインターンシップを行うことになりました。また、昨年はパナソニック・カンボジアが、同研究所およびパニャサーストラ大学（PUC）の学生6名に対して奨学金を授与し、学業支援に加えてインターンシップやメンタリングの機会も提供しました。
PUCのチェン・ヴェウン奨学金・貸与金プログラム担当ディレクターは、「本プログラムは学生の経済的支援にとどまらず、高等教育の継続やキャリア目標の実現に向けた意欲を高める重要な役割を果たしている」と述べています。

2024年03月05日

カンボジア経済は平均6.5％の成長率になると首相が発表



出典：Cambodia’s economy to grow at 6.5% average rate, PM says

フン・マネット首相は3月28日、プノンペンで開催された「カンボジア・アウトルック・カンファレンス2025」において、今後10年間の経済成長率の平均目標を年6.5％とする政府の見通しを示しました。この達成には、具体的かつ実行可能な政策立案とその着実な実施が不可欠と強調。
CDRIの報告によると、同期間中の成長率は6.4％と予測されており、既に2024年は5.8％、2025年は6.3％への回復が見込まれています。
経済専門家は、製造業や中小企業の成長に加え、不動産、観光、農業など多分野の強化が重要と述べました。

©2025 GCC Japan Co.,Ltd All Rights Reserved

2024年03月05日

アクレダ銀行、政府債券取引の初認可銀行に

出典：ACLEDA authorised as government bond intermediary

カンボジア証券取引委員会（SERC）は、アクレダ銀行（ACLEDA Bank Plc.）を政府債券の取扱仲介機関として正式に認可しました。これは、同行が同国で初めて商業銀行として政府債券取引に関与するケースであり、今後は個人投資家や銀行以外の機関投資家も参加可能になります。
SERCのスー・ソチェア委員長は、政府債券が経済・社会開発資金を民間から調達する重要な手段であり、リスクのない資産であると説明。アクレダ銀行のイン・チャニー社長も、債券投資が国内外投資家にとって新たな選択肢であり、国家経済への貢献につながると強調しました。

©2025 GCC Japan Co.,Ltd All Rights Reserved

株式会社GCCジャパン
〒107-0062 東京都港区南青山2-23-8
外苑ビル8階
TEL:03-5927-1882
E-mail: central@gccjapan.co.jp

GOLDEN CAMBODIA CENTURY